

【NEWS RELEASE】

2019年11月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社メディカル・コンシェルジュの「SMBC働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社メディカル・コンシェルジュ（代表取締役社長：磯野 晴崇）の発行する「SMBC働き方改革私募債」を買受けいたしました。

「SMBC働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、株式会社メディカル・コンシェルジュに対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、株式会社メディカル・コンシェルジュでは、以下のような取組と実績を有しておられます。

正社員の副業・兼業の解禁や育児・介護事由を問わないテレワークの導入を通じて、従業員の多様な働き方を推進

休憩室や特定の業務に一時的に集中するための作業スペースの設置、オフィス内装の工夫等を通じて、従業員が集中して働けるオフィス環境を提供

一時的な職種転換による業務負荷の軽減や、短時間勤務制度の整備を通じて、仕事と介護の両立を支援

さらに同社では、今後の更なる働き方改革に向け、経営トップが、『産休代替』や『研修参加』等のスポットの派遣要請に応える当社の事業を通じて、医療業界全体の働き方改革の推進を目指している。「テレワークの環境を整え、場所や時間にとらわれない多様な働き方を推進している」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下をコミットしておられます。

- ・テレワーク利用率のアップ（管理・エンジニア系の対象部門）
- ・女性社員の育休・産休からの復帰率100%の維持

三井住友銀行では、「SMBC働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



同社で活躍する女性従業員たちの様子

（ ）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）に業務を委託しております。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。